

## 1. はじめに

12月に入って、ロチェスターでは雪が降り始めました。石川県も同じ時期に積雪が観測したと友達から聞きました。ロチェスターで降る雪は水分が少ないのでサラッとしてます。また気温は氷点下を下回る事が普通であり、風が吹くと体感気温は更に下がるのでコート、マフラーは必須です。今月は、秋学期が終わり、Winter breakを迎えました。学生寮は大学院生用のアパート以外は閉まっており、殆どの学生は実家に帰省しています。本報告書では、各授業の内容及び成績について述べたいと思います。

## 2. Fall Semester

12月中旬に Final Exam を終えたところで秋学期が終わりました。秋学期は課題とクイズに追われ、毎日が大変であったのと、一日がとても早く終わるのを感じました。また、この学期を通じて痛感したことは、自分のボキャブラリーが少なく、先生に何度も聞き直したり、辞書を引いたり意味を調べることに時間を多く割きました。リスニングや会話は、聞き取れる時と聞き取れない時が多々あり全てを理解できたと言うことはありませんでした。しかし、何となくですが相手が話していることを少し理解し、コミュニケーションを図ることが出来たことは自分でも少しは成長したのかなと思います。文法はこの学期で一番成長したのではないかなと感じています。私は高校生の頃から文法がとても苦手で、あまり良い成績ではありませんでした。RIT に来てから一文一文の持つ意味や構成を学んでいくうちに理解することが出来るようになってきました。まだまだクイズやテストでミスすることはありますが、嫌だった時の自分と比べてみると嘘のようです。

次の学期時に1つ上のクラスをスキップしたい人が希望制で受けることが出来る Tutoring Advanced Level の授業を受け Final Exam も受けましたが、GPA が僅かに足りずにスキップすることが出来ず、春学期は Advanced Level でのクラスになりました。後僅かだったこともありとても悔しい気持ちでしたが、とても良い経験でした。次学期からは、Inquiry-based Lang Tasks の授業の代わりに自分の学科の授業を履修しても良いとの事だったので、楽しみたいと思います。

課外活動は、RIT 剣道部と UR 剣道部の活動時間が、それぞれ Japanese Culture Association と Japanese Conversation Table の活動時間と殆ど被っていたため、剣道部の練習参加を優先しました。そのため、JCA のメンバーと交流する機会が無かったのが、勿体なかったと思いました。しかし剣道を通じて他大学の練習に参加し交流することは、渡米前では考えていなかったので剣道をやっていてよかったと思いました。また、来年は剣道の試合にも招待されたので準備しつつ楽しみたいと思います。

## 3. 振り返り

この留学生活も半分が終わり後半へ入りました。6月にアメリカに来て、様々な文化や習慣の違いや体調管理に苦労したこともありましたが、楽しく過ごすことが出来ました。英語力の向上に関しては、ペラペラに会話が出来るとか完璧に話している内容を理解できると言った目に見えるような進歩は見えていません。ただ、苦手だったものが苦手で無くなったことは私にとって一番の進歩であると思います。残りの留学生活は苦手なものを無くしつつ、少しでも目に見えるような成長へと繋がられるようにしたいと思います。

## 4. 終わりに

2017年も終わり、来年は私にとって、とても大事な一年になります。一年後、振り返ったときに満足した年だったと言えるように一日一日を充実したものにしていきたいと思います。

以上で12月の報告とします。